

製品名: KANK2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12893**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

抗原情報

遺伝子名	KANK2 KANK2; ANKRD25; KIAA1518; MXRA3; SIP; KN motif and ankyrin repeat domain-containing
別名	protein 2; Ankyrin repeat domain-containing protein 25; Matrix-remodeling-associated protein 3; SRC-1-interacting protein; SIP; SRC-interacting protein; SRC
遺伝子 ID	25959.0
SwissProt ID	Q63ZY3
免疫原	抗血清はヒト KANK2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 351-400

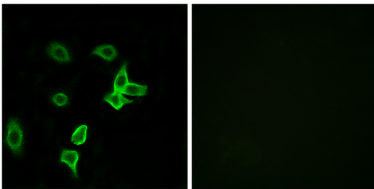
背景

この遺伝子は、アクチン重合を制御することで細胞骨格形成に関与する KN モチーフおよびアンキリンリピートドメイン (KANK) ファミリータンパク質のメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、ステロイド受容体コアクチベーター、そしておそらく他のタンパク質の隔離に関与しています。この遺伝子の変異は、腎臓のポドサイト機能障害、ネフローゼ症候群、角化症、および羊毛様毛髪に関連しています。[RefSeq 提供、2016年7月],PTM: おそらく ATM または ATR による DNA 損傷時にリン酸化されます。類似性: 5つの ANK リピートを含みます。組織特異性: 子宮頸部、結腸、心臓、腎臓、肺で強く発現しています。、

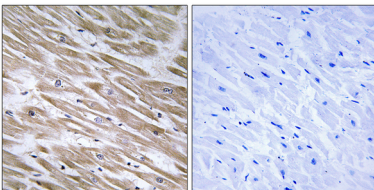
研究分野

-

画像データ



KANK2 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



KANK2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト心臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。